

Eco & Peace Navigator

エコ&ピース ナビゲーター

2023年
2月号
Vol.36

食材のお届けだけじゃない!
パルシステム東京の
社会活動をご紹介します。

〈環境編〉

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

第1回「ジャパン SDGsアワード」受賞

発行日：2023年2月6日
発行：パルシステム東京 組織政策推進本部

IPCC 第6次評価報告書では「人為起源の気候変動は、世界中の全ての地域で多くの極端な気象と気候に既に影響を及ぼしている。」と報告されています。気候変動について世界の国の間ではどのような話し合いがされているのでしょうか。2022年11月に開催されたCOP27(国連気候変動枠組条約第27回締約国会議)の結果を見てみましょう。

(イメージ)

IPCC (気候変動に関する政府間パネル) とは

1988年に設立された政府間組織で2021年8月時点では195の国と地域が参加。世界中の科学者の協力の下、出版された文献に基づいて定期的に報告書を作成、気候変動に関する最新の科学的知見の評価を提供しています。

出典：気象庁 HP (<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/index.html>)
※最新は第6次評価報告です。

COP (国連気候変動枠組条約締約国会議) とは

1992年、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする「国連気候変動枠組条約」が採択され、世界は地球温暖化対策に世界全体で取り組んでいくことに合意しました。同条約に基づき、COPが1995年から毎年開催されています。日本からは全てのCOPに環境大臣が出席しています。

出典：環境省 HP (<https://www.env.go.jp/earth/copcmcpma.html>)

COP27 報告： 損失と損害に私たちはどう立ち向かうか

特定非営利活動法人 気候ネットワーク 田中 十紀恵

COP27の開催

2022年11月、エジプトでCOP27が開催されました。COPには気候変動枠組条約の締約国が集まり、世界で気候変動問題に取り組むための共通のルールや方法が話し合われます。COPでの決定は全ての締約国の合意です。日本も締約国ですので、COPでの決定をもとに日本の気候変動政策が決まり、私たちの生活にも関わってきます。

損失と損害

気候変動が引き起こす熱波や洪水、干ばつなどへの対策を講じても発生する被害を「損失と損害」と呼びます。気候変動による気温上昇の影響が指摘されるアフガニスタンの干ばつでは、貧困や食糧危機がさらに深刻になっています。途上国は温室効果ガス排出量が少ないにも関わらず、先進国のこれまで排出の影響で大きな被害を被っており、脆弱な人々に被害が集中するという不公平が生じています。世界各国で気候災害が起こるなか、COP27では、損失と損害に対処するための新基金設立が決定しました。誰が資金を出し、受け取るのか等の詳細はこれから議論されますが、30年以上議論が進まなかった資金支援について、初めて合意されたことは歴史的な成果です。

損失と損害をこれ以上拡大させないために

気候変動の原因となる温室効果ガス排出削減が重要です。化石燃料から脱却し再生可能エネルギーへと転換していくことが強く求められます。COP27でも、現在のエネルギー危機にあっても、再生可能エネルギーへの移行が急務という認識が共有されました。

日本は世界第5位の温室効果ガス排出国で環境先進国とは言えません

G7で唯一、CO₂を多く排出する石炭火力発電所の新規建設を進めており、世界の流れから逆行する政策がとられています。日本でやるべきことはまだまだあります。COPの結果を受け、省エネ・再生可能エネルギー普及に取り組んでいただきたいと思います。

パルシステム東京ではエネルギー政策に基づき、地球温暖化防止と脱原発に取り組んでいます。

まっ
たなし!
気候変動問題の今を知ろう!



裏面もご覧ください!

〈平和編〉

アフガニスタンの干ばつ

平和編では、気候変動によって深刻な影響を受けている国の一つアフガニスタンの現状と、支援する国際協力活動について紹介します。

アフガニスタンでの気候変動は、長年続く干ばつと、記録的大雨による洪水被害として表れています。紛争や各国の経済制裁で、干ばつによる食糧難に対し食糧を他国から輸入することや、洪水に耐えるインフラに整備することもないません。つまり、気候変動が飢餓や伝染病、難民化に直結しているのです。WFP国連世界食糧計画によると、2022年現在、人口の半数の2000万人近くが食糧不安に直面しています。

ペシャワール会

パルシステム東京「平和カンパ」贈呈先団体

ペシャワール会は1983年、故中村哲医師のアフガニスタンでの医療活動を支援する目的で結成されました。2000年の大干ばつを目の当たりにした中村医師は「薬だけでは人々の健康は守れない」と医療支援のみならず、「緑の大地計画」として農業のための水源確保事業を始めました。それから22年、23,800haの耕地を灌漑し、65万人の人々の健康的な生活を取り戻すまでに至っています。中村医師は2019年に襲撃され命を落としましたが、彼の思いと技術は多くの人々に継承され「緑の大地計画」は今も続いています。

詳しくはこちら▶



©ペシャワール会

灌漑用水路工事の様子



©ペシャワール会

上の灌漑用水路工事から6年後

アフガニスタンの
気候変動
の
飢餓から見る

特定非営利活動法人 国連 UNHCR 協会

2022年パルシステム東京にてアフガニスタン募金広報協力を実施

UNHCRは世界135か国で活動をしている国連の難民支援機関です。アジアやアフリカなどでも気候変動による難民を支援しているUNHCRはCOP(環境編を参照)にも参加をし、世界のリーダーたちに向けて、気候変動により故郷を追われた人々への支援を強化するとともに、途上国の気候変動への影響を軽減するための行動を呼び掛けています。

アフガニスタンでは医療施設と少女のための学校を建設しているほか、-20℃にまでなる厳しい冬を越すための防寒支援、教育、衛生など、多岐にわたる支援活動を行っています。

※国連UNHCR協会は、国連の難民支援機関であるUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の活動を支える日本の公式支援窓口です。

詳しくはこちら▶



カブールに建設した太陽光発電式のウォーターポンプ

こちらをご覧ください▶

気候変動と難民問題の未来を書き換える「RE:VISION ART PROJECT」が始動しました



おし
教えてこんせんくん!

きこうせいぎ
気候正義ってなあに?

気候変動の原因はたくさん石油や天然ガス、石炭を燃やして出るCO₂だといわれているよ。日本みたいに今までCO₂をたくさん出してきた国は豊かになって、お金のない途上国はCO₂を出していないのに飢餓などの大きな被害を受けている…。これは不公平だね。被害を受けている弱い国の人たちを助けようよ! という考え方を「気候正義」というよ。



気候変動について基本から知りたい方、詳しく知りたい方は学習会動画をご覧ください



平田 仁子 氏

一般社団法人 Climate Integrate
代表理事

これからどうなる?
気候変動と自然環境



西廣 淳 氏

国立環境研究所 気候変動適応センター
気候変動影響観測研究室室長

パルシステム東京公式YouTubeチャンネルで公開中

募集中 東京の身近な自然を守ろう 井の頭公園で保全体験

都内で数少ないハンノキ林が育つ為の良い環境をつくる作業です。



■日時: 3月4日(土) 10:00~12:00

■会場: 井の頭恩賜公園

■定員: 30名

■応募締切: 2月22日(水)
12:00

詳細は
コチラ!▶



※詳細は今週配付のWITH YOUまたは
パルシステム東京HPイベント案内をご覧ください。

